

お神輿や山車の行列と勇ましい男たちが揉る夫婦獅子

さくらい ししまい
桜井の獅子舞



毎年7月第4土曜日に、市内桜井にある諏訪神社の祭礼時に行われる獅子舞で、桜井地区6町内を巡行する「行道獅子」という古い形態の民俗神事です。神輿などと行列を組み、町内ごとの花山車に獅子頭を乗せて町内を巡行して、祭礼会所前や辻などでお囃子を奏でたり、神輿を揉んだり、獅子舞を披露するなど、全国的にも数少ない形態のひとつです。拍子木を打ちならし、木遣り歌を歌い終って氣勢をあげ、これを合図にお囃子に合わせて、雌雄の獅子頭を持ち上げたり、場所を入れ替わるなどして舞います。これらの所作は、桜井独自の舞い方で、エサを食べている雌獅子を雄獅子が見守る夫婦の愛情を表現したものとされています。

市指定文化財：民俗文化財（無形民俗文化財）

指定年月日：平成22年6月2日

所在地：木更津市桜井

保存団体等：桜井獅子舞保存会

公開・非公開の別：公開（例祭時）
